

第67回東北地区高等学校PTA連合会郡山大会

こころ豊かなたくましい人づくり

～変化に対応し、未来を拓く力を～

第67回東北地区高等学校PTA連合会郡山大会が、平成30年7月5日(木)・6日(金)の両日において盛大に開催されました。「こころ豊かなたくましい人づくり～変化に対応し、未来を拓く力を～」を大会テーマとして、東北各県から670名あまりの参加者を集め、福島県での開催は六年ぶり、郡山での開催は実に12年ぶりの大会となりました。

第1日目の夕刻からホテルハマツにおいて情報交換会が行われました。郡山市のご当地キャラクターの「がくとくんバンド」のウエルカムミュージックで参加者をお出迎えした後、あさか開成高校のフラ・タヒチアンダンスチーム「チームALOHHA」のアトラクションに続き、樽川啓、大会実行委員長の開会のご発声のもと、華やかに幕を開けました。

石川直哉大会会長や多くの方々のご挨拶の後、鏡開きが行われ、阿部武彦福島県高等学校長協会長の乾杯により、歓談が始まりました。

参加者達が県を越えて、情報交換を行っている中も、郡山市の東部に伝わる「高柴ひょうとこおどり」やサックス演奏のアトラクションが会場を盛り上げていました。

2日目は、会場をビッグパレットふくしまに移し、オープニングに本宮高校の教員で詩人でもある和合亮一さんによる詩の朗読がありました。その後、東日本大震災の被害者へ哀悼の意を込め黙祷が行われた後、多くの来賓の方の参加を賜り、肅々と開会行事が執り行われました。

PTA活動に功績があった方や優秀な広報紙の発行をした学校に対して、表彰状や感謝状の授与を終えると、大会テーマに即した研究協議が行われました。まず初めに、東北六県の代表者による研究発表があり、各校の特色あるPTA活動の紹介がありました。各校パワーポイント等のソフトを生かし、わかりやすく、参加者を楽しませる発表でした。発表が終わると、活発な意見交換が行われ、質疑応答の後、桜の聖母大学学長の西内みなみ先生の指導助言を頂きました。

昼食休憩中には、高校生発表として、迫力ある重低音で魅了する塙工業高校和太鼓部の演奏や、キレのある演技の郡山商業高校のチアリーディング部が会場を楽しませていました。

午後に入ると、かつて女三四郎と呼ばれ、女子柔道の草分けとなった筑波大学教授山口香氏による講演が行われました。「スポーツの力～子供たちの未来に向かって～」という演

題で、人間形成の上で、スポーツが如何に有益であるかということを非常に分かりやすく、解説して頂きました。いよいよ大会も大詰めとなり、最後の高校生の発表は、楽都こおりやまを象徴するような、郡山市内七つの高校による合唱管弦楽合同３５０名の大演奏がありました。会場は大いに感動に包まれ、高校生の持つ力と可能性を十分に感じる事ができました。

大会の最後に次期開催県である山形県より来年度の大会のＰＲがあり、その後閉会宣言が行われ、大会は終了しました。開催県として苦労もありましたが、大変意義深い大会となりました。



講演する山口 香氏



樽川実行委員長と生徒たち



郡山市内の生徒達による大演奏



石川会長による挨拶



埴工業高校の和太鼓演奏